

# 国語研究

第八十一号

他動詞「す」の賓語について ——十世紀前半成立の和文の和語の賓語に限つて——	中村 幸弘	29	1
伝西行筆『源氏物語』竹河に見られる語法小考	竹部 歩美		
近世後期伊勢方言の否定表現 ——『六諭衍義俗講』における様相——	安道 里巳	46	
今川氏真の詠作に見える助動詞「けむ」の表す時間の把握について ——「夕は秋となく思ひけむ」の解釈——	色川 大輔		
『日本国語大辞典』不載語彙 ——『新編国歌大観』本文から——	小田 勝	77	
終助詞が必須となる時 ——中古和文と現代語の命令形——	富岡 宏太	左110	
フィンランドで編纂された日本語教科書の名詞 ——『Eävarai Japania』を中心に——	本間 美奈子	左96	
神奈川県高座郡寒川町方言の老年層のアクセント ——三重県鈴鹿市方言アクセントにおける個人内でのゆれ——	坂本 薫	左78	
条件表現の全国分布に見られる経年変化 ——予測的条件文の場合——	竹内 はるか	左60	
高校生にみる第2拍目に位置する特殊拍の発音と意識 ——南部方言の形容詞のアクセント——	三井 はるみ 久野 マリ子 上野 善道	左40 左21 左40	